

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mailでgpjimu@tenmon.or.jp宛、なお、原稿も必ず0422-31-5487迄Faxでお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

京都大学大学院理学研究科
附属天文台教官

1. 助手 1名
2. (1) 京都大学大学院理学研究科附属天文台
(2) 岐阜県吉城郡上宝村蔵柱 飛騨天文台
3. 天体物理学
4. 恒星及び銀河の観測を中心とした天文学の観測的教育研究
京都大学大学院理学研究科附属天文台では、現在の太陽物理学の研究を更に発展させると共に、恒星及び銀河における太陽型活動の研究を切り拓こうとしています。飛騨天文台の60cm反射望遠鏡による分光観測及び測光観測と装置開発で成果を挙げると共に、附属天文台における中口径望遠鏡の計画をその中心となって積極的に推進する方を求めています。過去の恒星銀河観測の経験の有無は問わず、広く人材を求めます。
5. (1) 決定後、なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了、又はそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書、(2) 研究成果説明書（これまでの研究成果の概要を説明したものに、研究論文リストと主

要論文別刷を添付すること）、(3) 研究計画書

8. 平成12年1月28日(金)必着

9. (1)、(2)

〒607-8471 京都市山科区北花山大峰町

京都大学 花山天文台 黒河宏企

電話：075-581-1235

FAX：075-593-9617

10. 封筒の表に「応募書類在中」と朱書き、郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。

名古屋大学大学院理学研究科物理学専攻教官
募集

1. 助教授又は助手 1名
2. (1) 名古屋大学大学院理学研究科
素粒子宇宙物理学専攻・天体物理学（理論）部門（AT研）
(2) 名古屋市千種区不老町
3. 天体物理学（理論）
4. 助教授の場合、これまで観測的宇宙論の研究を行ってきた者
助手の場合、これまでの分野は問わないが、今後観測的宇宙論の研究を指向する者
いずれも、データ解析又は数値シミュレーションの力量を期待する
5. 決定後なるべく早い時期
7. (1) 履歴書、(2) 研究業績リスト、(3) 主要論文の別刷又はコピー5編以内、(4) これまでの研究歴、今後の研究計画、(5) 自薦の場合は本人に関して照会可能な方2名の氏名と連絡先、他薦の場合は推薦書2通、(6) 希望する職種（助教授または助手）
8. 2000年2月29日(火)必着
9. (1) 〒464-8602 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院理学研究科・
物理学教室主任：富松 彰
(2) 同理論天体物理学研究室：池内 了
電話：052-789-2427
10. 封筒に「天体物理学研究室教官応募書類」と朱書き、簡易書留で送付のこと。

香川大学教育学部講師または助手の公募

1. 講師または助手 1 名
2. (1) 理科教育講座
(2) 香川県高松市幸町 1-1
3. 実験物理学
4. 担当授業科目：基礎物理学実験，物理学実験，物理学等。次年度以降は，理科共通科目（理科演習・初等理科等の分担）と全学または学部に通な科目も，担当していただく予定です。
5. (1) 2000 年 4 月 1 日，(2) 63 歳定年
6. (1) 大学院博士課程修了（2000 年 3 月修了見込みを含む），またはこれと同等以上の能力を持つ者，(2) 教育学部の目的を理解し，理科教育の研究と実践的指導力を持つ教員の養成に意欲のある者，(3) 大学院修士課程の授業を担当できる者が望ましい，(4) 採用時において，35 歳以下が望ましい
7. (1) 履歴書（市販のものに写真貼付），(2) 研究業績一覧表（用式は公募要項を参照のこと），(3) 主要論文別刷り（コピー可），(4) 教育学部における教育と研究の抱負（A4 判，2 頁），(5) 学会および社会的活動一覧（用式は公募要項を参照のこと），(6) 推薦書（学部長宛）
8. 2000 年 1 月 31 日 必着
9. (1) 〒 760-8522 香川県高松市幸町 1-1
香川大学教育学部長 妻鳥敏彦 宛
(2) 香川大学教育学部理科教育講座主任 谷山 稔
電話 087-832-1462
email: taniyama@ed.kagawa-u.ac.jp
10. 封筒の表に「理科教育講座教官募集書類在中」と朱書し，書留で郵送すること。

研究助成

山田科学振興財団研究援助候補推薦

山田科学振興財団より本会宛に，下記内容の 2000 年度研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせ致します。

（推薦要項抜粋）

1. 援助の対象：自然科学の基礎的研究（実用指向研究は対象外）

◎選考に当たり特に配慮される点

- イ. 萌芽的研究
- ロ. 大学に新研究室を創設して間もない場合
- ハ. 学際性の豊かな研究
- ニ. 国際協力研究

2. 援助の金額：1 件当たり 100 ～ 500 万円の援助を 10 件。（援助金の使用期間は贈呈した年度及びその次の年度の計 2 年間とします。）

3. 推薦件数：1 学会ごとに 2 件以内。

1999 年度は，中井直正氏他協同研究者 7 名に 200 万円研究援助されました。

★申請用紙をご入用の方は，学会事務室までお申し出下さい。申請書は，2000 年 3 月 1 日までに下記宛に提出して下さい。

宛先：〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内 社団法人 日本天文学会

電話：0422-31-1359 FAX：0422-31-5487

研究会・集会案内

「銀河学校 2000」生徒募集

東京大学木曾観測所では天文学の研究に興味を抱いている高校生を対象に 2000 年 3 月 27 ～ 29 日，第 3 回銀河学校を開きます。参加者は観測所に泊まり込み，天文学者と一緒に口径 105cm シュミット望遠鏡を使って CCD 撮像観測を行います。関心のある方は，下記の要領で応募して下さい。

期日：3 月 27 日(月)13 時 30 分

JR 木曾福島駅前 集合

～ 29 日(水)15 時

JR 木曾福島駅前 解散

場所：木曾観測所

募集人数：高校生 12 名

費用：交通費 + 滞在費（食事代と傷害保険料との実費）

応募方法：「星の色」について調べ 800 字程度のレポートを 2 月 14 日(月)必着で木曾観測所宛にお送り下さい。

郵便番号, 住所, 氏名, 生年月日, 性別, 電話番号, 学校名, 学年を明記して下さい。

選考結果：2 月末日までに各人宛通知致します。

宛先：〒 397-0101 長野県木曾郡三岳村

東京大学木曾観測所

TEL：0264-52-3360 FAX：0264-52-3361

木曾観測所ホームページ

http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kiso_obs

観測内容：「銀河学校」は天文学に強い関心を持つ全国の高校生諸君が、大学天文台での研究活動を体験し、互いの交流を深めることを目的としています。参加者は、観測所に泊まり込み、所員と共に、大型シユミット望遠鏡を使った CCD 撮像観測を行い、コンピュータによりそのデータを解析します。

今年度のテーマは散開星団で、星団の HR 図を作成しその性質を研究します。

2000 年第 25 回光学シンポジウム講演募集

日時：2000 年 6 月 22 日(木), 23 日(金)

9：30～17：00

場所：東京大学生産技術研究所第一会議室

東京都港区六本木 7-22-1

主催：日本光学会（応用物理学会）

協賛：日本天文学会 他

テーマ：「光学システムおよび光学素子の設計、製作、評価を中心として」

講演方法および時間

a) 口頭講演：発表 20 分（予定）、質疑応答 5 分、OHP（ビデオプロジェクタの使用は希望者のみ）

b) ポスターセッション：ショートプレゼンテーション 5 分（質疑応答なし、OHP 使用）、説明時間 120 分（予定）

口頭講演とポスターのどちらを希望するかは応募時に明記していただきますが、プログラム編成上の都合により、予め連絡の上、講演方法を変更していただく場合があります。

応募資格：日本光学会（入会予定を含みます）、応用物理学会及び協賛の学協会会員

応募方法：以下の内容を電子メール（郵送、FAX も可）にてお送り下さい。

題目、氏名（登壇者には○を付ける）、所属機関名、英文題目、英文氏名、所属機関英文名、概要（200 字以内）、連絡先（郵便番号、住所、氏名、E-mail、電

話、FAX）、口頭講演／ポスターの別、OHP／ビデオプロジェクタ使用の有無。

申込受付確認のメールを 1 週間以内に返送します。期限を過ぎてもメールの届かない場合は御連絡下さい。

応募先：E-mail：opsym@crc.canon.co.jp

〒 243-0193 神奈川県厚木市森の里若宮 5-1

キヤノン(株)中央研究所 坂田 肇

TEL：046-247-2111 FAX：046-248-0306

応募締切：2000 年 3 月 3 日(金)必着

予稿提出：採用した講演については、オフセット原稿または PDF 形式の電子ファイル（図・表を含めて所定の用紙で 2 枚もしくは 4 枚、本文のみ 2 段組）を提出していただきます。言語は日本語または英語とします。100 ワード程度の英文要旨を付けていただき、図・表は英文とします。詳細は、後日案内予定の予稿原稿の書き方を御参照下さい。

予稿締切：2000 年 4 月 28 日(金)必着

問い合わせ先：光学シンポジウムに関する問い合わせは、上記の応募先をお願いします。

日本光学会ホームページ

<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/osj-ap/index.html>

共同利用・共同研究

「第 41 回科学技術映像祭」参加作品募集

本映像祭では、研究機関または研究者個人の製作した学術的映像も募集しています。学会のビデオセッション等で使用する学術価値の高い映像を是非ご応募下さい。詳しくは HP をご覧下さい。

締切：2000 年 1 月 31 日（必着）

発表：2000 年 3 月中旬

表象（予定）：内閣総理大臣賞、科学技術庁長官賞

連絡先：〒 102-0091 千代田区北の丸公園 2-1

日本科学技術振興財団 四村

TEL：03-3212-8487 FAX：03-3212-0014

URL：

<http://ppd.jsf.or.jp/shinko/pro/s-m/index.htm>

会務案内

日本天文学会 1999 年秋季年会報告（追加）

天文月報の 1999 年 12 月号で、1999 年秋季年会の報告を致しましたが、招待講演および特別講演につきましての報告が抜けていました。こちらの不手際をお詫びいたしますとともに、追加してご報告いたします。

〈招待講演・特別講演〉

1999 年秋季年会では、次の 2 つの招待講演と特別講演が行われた。両方とも多数の参加者があり、興味深いお話を聞くことができた。講演をしていただいたお二方には感謝の意を表したい。

・招待講演

講演者：羅逸星 (Nha Il-Seong) 氏 (羅逸星天文館)
 テーマ：20 世紀初め韓国で活躍した二人の先駆者
 (和田雄治と W. Carl Rufus の例)

日時：1999 年 10 月 8 日 16：00～16：50

・特別講演

講演者：村上敏夫氏 (宇宙科学研究所)
 テーマ：ガンマ線バースト観測の最近の進展

日時：1999 年 10 月 7 日 16：00～16：40

吉川 真 (年会実行委員長)

●事務局だより●

会費納入のお願い

天文学会は主に会員の皆様から納入される会費によって運営されております。天文学会は 1998 年度より定款改訂に伴い会計年度が 1 月～12 月です。2000 年 3 月 31 日までに 2000 年度会費を納入して下さい。年会費納入時に、春・秋季年会予稿集の予約をしている方は予稿集代金も加算してご納入下さい。予約されている人は、天文月報の郵送封筒の宛名の下段に“予”の字が印刷されています。(予稿集の予約は中止のお申し出がない限り自動的に継続されます)

正会員 (一般・予稿集あり)	……………22,000 円/年
正会員 (一般・予稿集なし)	……………18,000 円/年
正会員 (学生・予稿集あり)	……………17,000 円/年
正会員 (学生・予稿集なし)	……………13,000 円/年
準会員 (予稿集あり)	……………12,000 円/年
準会員 (予稿集なし)	……………8,000 円/年

※学生の方は郵便振替ご利用の時は通信欄に、所属大学、学年等、学生である旨を明示して下さい。銀行振込の時は別途郵便、E-Mail、FAX 等でお知らせ下さい。(天文月報奥付に記載してあります)

◎銀行口座引き落とし登録の方は、1 月 10 日 (金融機関が休業日に当たる時は翌営業日) にご指定口座より引き落とします。(登録されている方は封筒表の宛名の所に * J * と印字されています)

◎今月号に振替用紙を同封していますのでご利用下さい。銀行振込をご利用の方は東京三菱銀行三鷹支店 普通 4434400 社団法人日本天文学会へご送金下さい。

◆会員の方々の管理は会員番号によっておりますので会員番号を必ず明記して下さい。

◆住所、所属、刊行物送付先等の変更のある方は郵便振替で会費をご送金の方は振替用紙の通信欄を、その他の方法で会費をご送金の方は、葉書又は FAX でご連絡下さい。

◆年度途中で退会を希望する方は退会時清算として、年度開始後 (1 月以降) お送りした刊行物の代金をお支払い頂きます。

天文月報 1 冊 700 円

欧文報告 1 冊 3,465 円

◆住所変更は毎月 10 日までに受け付けた分は新住所へ刊行物をお送りします。11 日以降は翌月より新住所への発送となります。

訂正

1999年11月号のEUREKAの記事「分子雲の中で誕生し得る一番明るい星」(土橋一仁, Vol.92, No.11, pp.553-561)に関して, 以下の5点をお詫びして訂正致します。

(1) 558 ページ, 左段, 仮定②

仮定②全体を, 以下の通り訂正します。

「 $\phi(L)$ をスケールアップするファクター $g(M_{CL}, P_{EXT})$ は, 分子雲の総質量 M_{CL} に比例し, 星が形成される平均的な時間 τ に反比例する, と考えられる ($g \propto M_{CL}/\tau$)。 τ が分子雲の自由落下時間 (free fall time) に比例するものであるとすると, この量 M_{CL}/τ は分子雲内のガスの速度分散の3乗 ΔV^3 に比例する。つまり, $g \propto M_{CL}/\tau \propto \Delta V^3$ である, と仮定する。」

(2) 558 ページ, 右段, 下から6行目

「 $C_1 = n^{d/2}$ 」は, 「 $C_2 = n^{d/2}$ 」の誤りです。

(3) 559 ページ, 式5

この式は, その3行後の「…式4に代入すると,」の下に来るべきものでした。

(4) 561 ページ, 参考文献

「Larson R. B., MNRAS 200, 159」は「Larson R. B., 1982, MNRAS 200, 159」の誤りです (年号が抜けていた)。

(5) 図1, 2および4 (それぞれ, 554, 557および559 ページ)

縦軸のラベル「 $\text{Log}(L_{MAX}/M_{\odot})$ 」は「 $\text{Log}(L_{MAX}/L_{\odot})$ 」の誤りです。

(社) 日本天文学会へ, 1999年7月10日から1999年10月1日までの間に入会された方, 退会された方をお知らせします。

* 新入正会員: (定款第7条により, 1999年10月9日の理事会の承認を受けた)

加藤恒彦 阪大・大学院・理・宇宙地球科学 (在学)
 松峯公二 京大・大学院・理・宇宙物理学 (在学)
 福田毅哉 茨城大・理・地球科学 (在学)
 千葉 敏 日本原子力研究所
 岩淵甲誠 日大・大学院・理工・物理 (在学)
 山岡和貴 宇宙科学研究所宇宙圏研究系 (在学)
 井上勝博 京大・理・宇宙物理学 (在学)
 田尻愉香 京大・大学院・理・宇宙物理学 (在学)
 横川創造 東大・大学院・理・地球惑星物理学 (在学)

* 新入準会員

安藤享平 愛知教育大・物理 (在学)
 中村良介 神戸大・総合情報処理センター
 内山正裕

* 新入団体会員

りくべつ宇宙地球科学館

* 新入賛助会員

ナガセ電子機器サービス(株)

* 退会正会員

塚本 薫
 寺下陽一
 Piet Hut

* 退会準会員

石原 勝
 清治正博
 樋口八重子
 横田 博
 黒柳由美
 山崎正彦

* 退会賛助会員

(株) 河出書房新社

* 移籍会員 [準→正]

川良公明 東大・大学院・理・天文学教育研究センター
 永野元彦
 山本哲生 国立天文台 (研究員)

* 移籍会員 [正→準]

佐久間貞夫 (株) ワゴードライ

編集委員 上野宗孝 (編集長), 大橋正健, 小野智子, 斎藤芳隆, 田村元秀, 土橋一仁, 内藤統也, 和田桂一
 平成11年12月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 印刷発行 印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷
 定価700円 (本体667円) 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 TEL: 0422-31-1359 (事務室) / 0422-31-5488 (月報・欧文編集) FAX: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
 日本天文学会のホームページ <http://www.tenmon.or.jp/> 月報編集 e-mail: gjimu@tenmon.or.jp